

# 農業試験場 ニュース

第117号

2011.7



左：飛ばないナミテントウ成虫、  
 右上：モモアカアブラムシ、中下：シシトウ果実、  
 右下：アブラムシの被害（排泄物による‘すす’の発生）

## 研究成果

### 目

- ・ スプレーギクの冬季栽培における暗期中断後の日長延長時の光源と開花・切り花品質 . . . . . 2
- ・ イチゴ「まりひめ」栽培に適した追肥技術 . . . . . 3
- ・ 飛ばないナミテントウを利用したシシトウのアブラムシ防除 . . . . . 4
- ・ モモ高糖度園の光条件と雑草による糖度判定 . . . . . 5
- ・ 鶏糞堆肥を利用したハクサイの減化学肥料栽培 . . . . . 6

### 次

## トピックス

- ・ 2010年産米の品質低下と登熟期の気温 . . . . . 7
- ・ 大都市近郊の消費者の温州ミカンに対するブランド意識 . . . . . 8

現場に役立つ、現場が動く試験研究をめざして

農業試験場では、栽培部と環境部が一致協力し、地域と密接に連携しながら、1) 高品質・ブランド化、低コスト化、安定生産技術の開発、2) 食の安全・安心、環境に優しい農業生産技術の開発、に取り組んでいます。多様化する地域農業の課題に、研究を通して新しい形の技術を創造し、現場に役立つ成果をスピーディかつわかりやすく産地に繋ぐとともに、研究員の養成と研究環境を整えることが重要と考えます。

また、昨年度に策定された和歌山県の野菜と花きの振興計画に基づき、業務用野菜や県オリジナル品種の育成・産地化等に向け、生産技術の高度化を図るため、部門を包括的に連携させながら、試験研究に取り組んで参ります。

地域から信頼される研究機関をめざし、場の新生に取り組むたいと考えています。皆様方の更なるご協力・ご指導の程よろしくお願い致します。  
 (場長 神藤宏)